

E1A 新名神高速道路(大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間) 連絡調整会議

説明資料

2021年12月27日

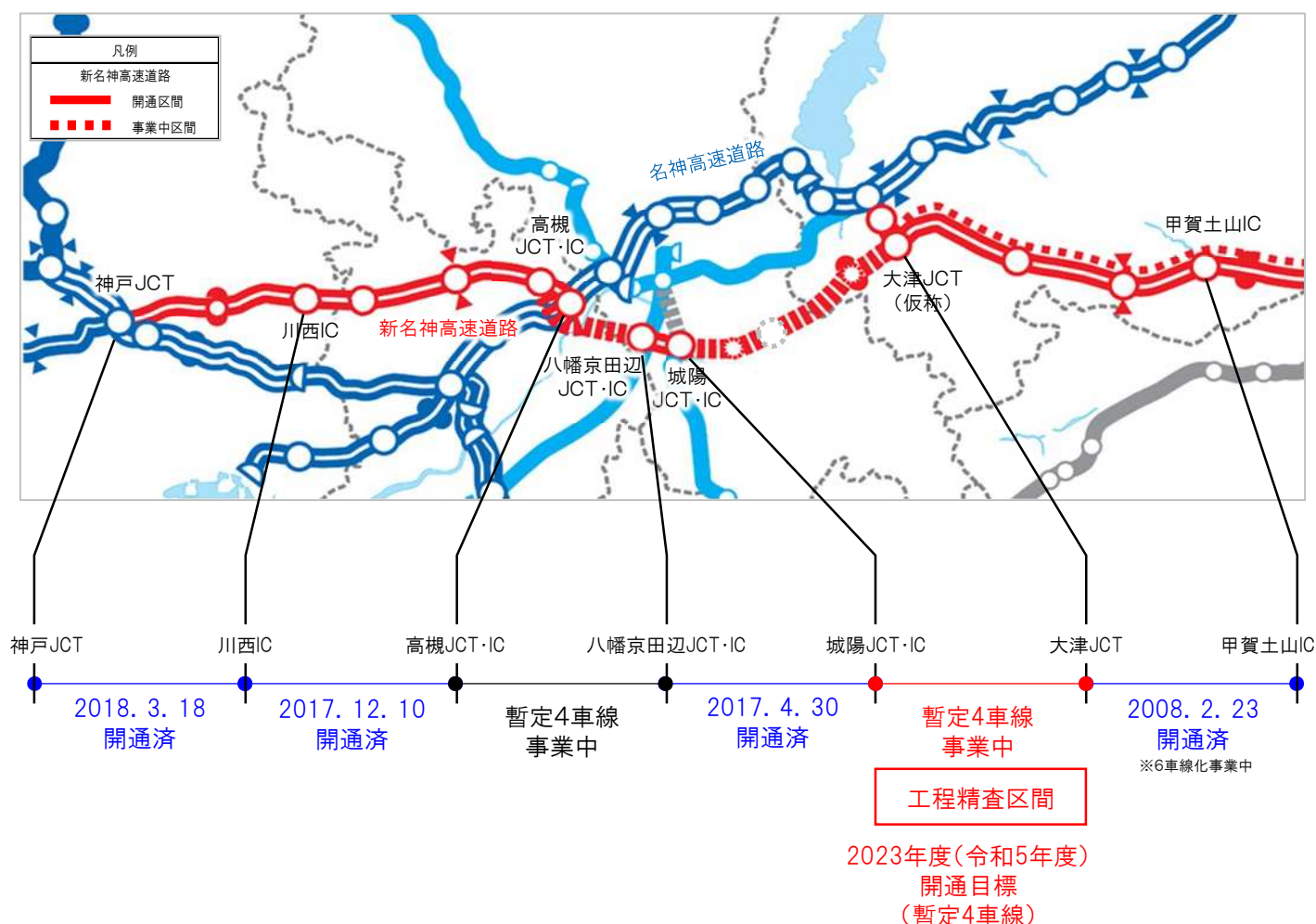
(1) 事業概要

■ 事業中区間は、大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間で全延長25.1km

■ 開通目標年度は2023年度(令和5年度)(暫定4車線)

■ 用地は概ね取得済みであるが、契約済み移転未了な箇所がある。用地取得や関係機関との協議が完了した箇所から順次本線工事に着手しています。

■ 路線の特徴は、土工区間が約6割、橋梁区間が約3割、トンネル区間が約1割と土工比率が高い。滋賀県域では、自然公園特別地域や砂防指定地及び保安林指定された山間部を通過し、京都府域では、中山間地域や丘陵地及び平野部を通過している路線となっています。



(2) 用地取得および土地収用法の手続き状況

■ 用地取得率 99%(2021年11月末時点)

【事業認定手続き】
(国土交通大臣)
申請事業が土地を収用するに値する
公益性を有することを認定する手続き

地元説明会の開催(起業者)

事業説明会: 2020年8月

事業認定申請(起業者→認定庁)

申請: 2021年3月19日

申請書の公告・縦覧(2週間)

事業認定告示

告示: 2021年6月10日

土地調書・物件調書の作成(起業者)
裁決申請書等の作成(起業者)

【収用裁決手続き】
(収用委員会)
土地所有者等に対する
補償金の額等を決定する手続き

裁決申請・明渡裁決の申立て
(起業者→収用委員会)

申請書の公告・縦覧

裁決手続開始の決定・登記

収用委員会審理

権利取得裁決・明渡裁決

補償金支払い・権利取得・明渡し

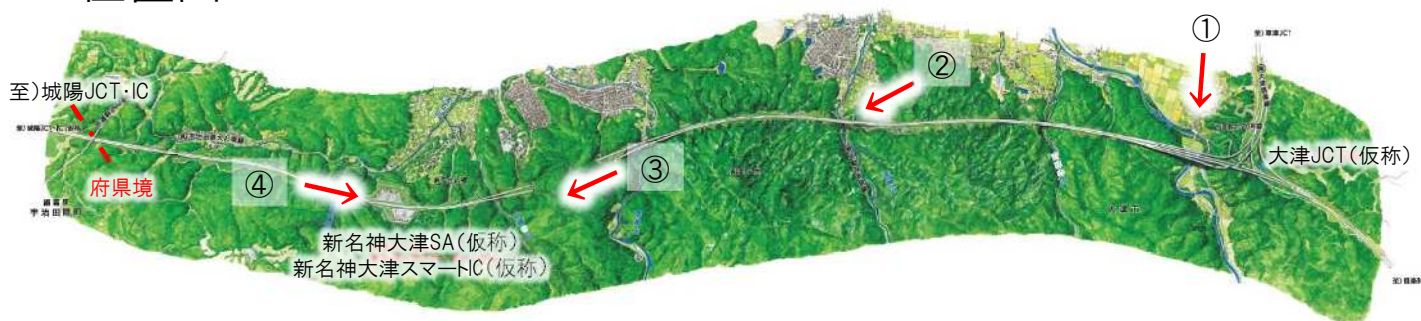
用地の取得

(3) 工事進捗状況(滋賀県域)

※事業中区間のJCT・IC及び構造物名称は仮称

■工事全面展開中で、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を進めています。

<位置図>



大戸川橋の整備状況
(2021年11月撮影)



山間部(田上地区)の整備状況
(2021年11月撮影)



大津大石トンネルの整備状況
(2021年11月撮影)



山間部(大石地区)の整備状況
(2021年11月撮影)

(3) 工事進捗状況(京都府域)

※事業中区間のJCT・IC及び構造物名称は仮称

- 用地取得に時間を要し、工事が一部の区間で未着手の状況です。
- その他の区間については、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を進めています。

＜位置図＞



宇治田原トンネル東坑口部の整備状況
(2021年11月撮影)



宇治田原インター付近の整備状況
(2021年11月撮影)



保安林指定地の整備状況(城陽市域)
(2021年11月撮影)

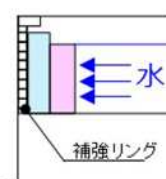
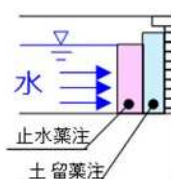
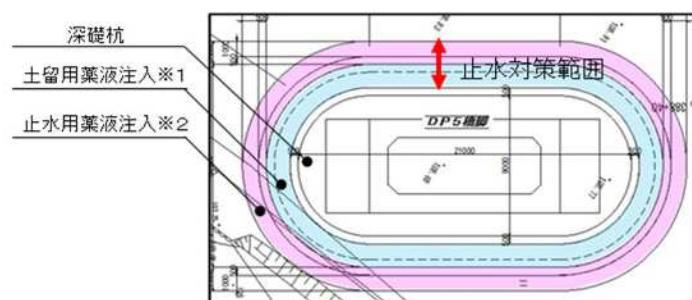
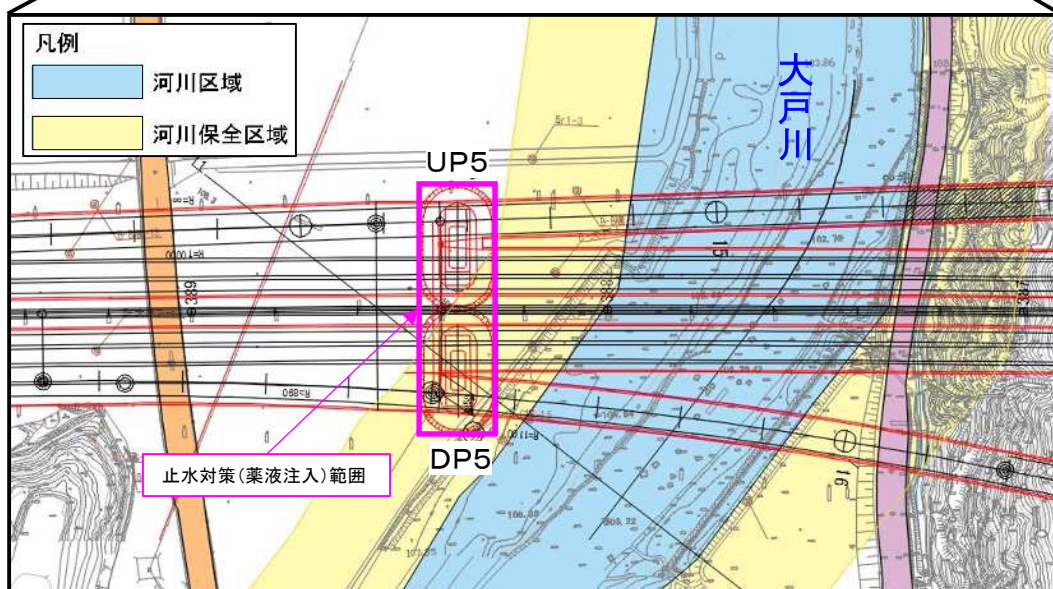
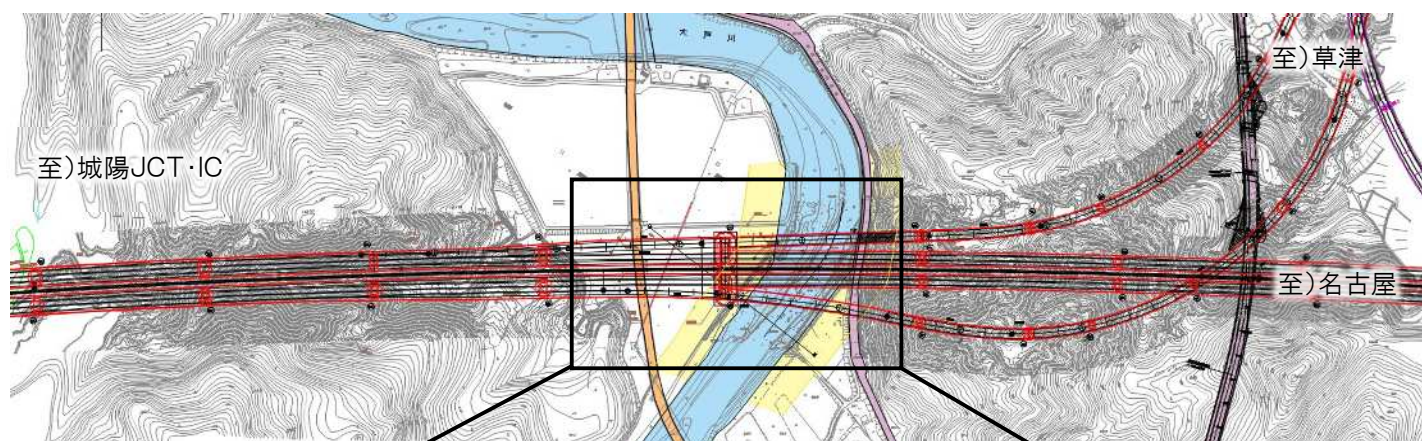


城陽高架橋部の整備状況
(2021年11月撮影)

(4) 工事工程の課題(滋賀県域)

※事業中区間のJCT・IC及び構造物名称は仮称

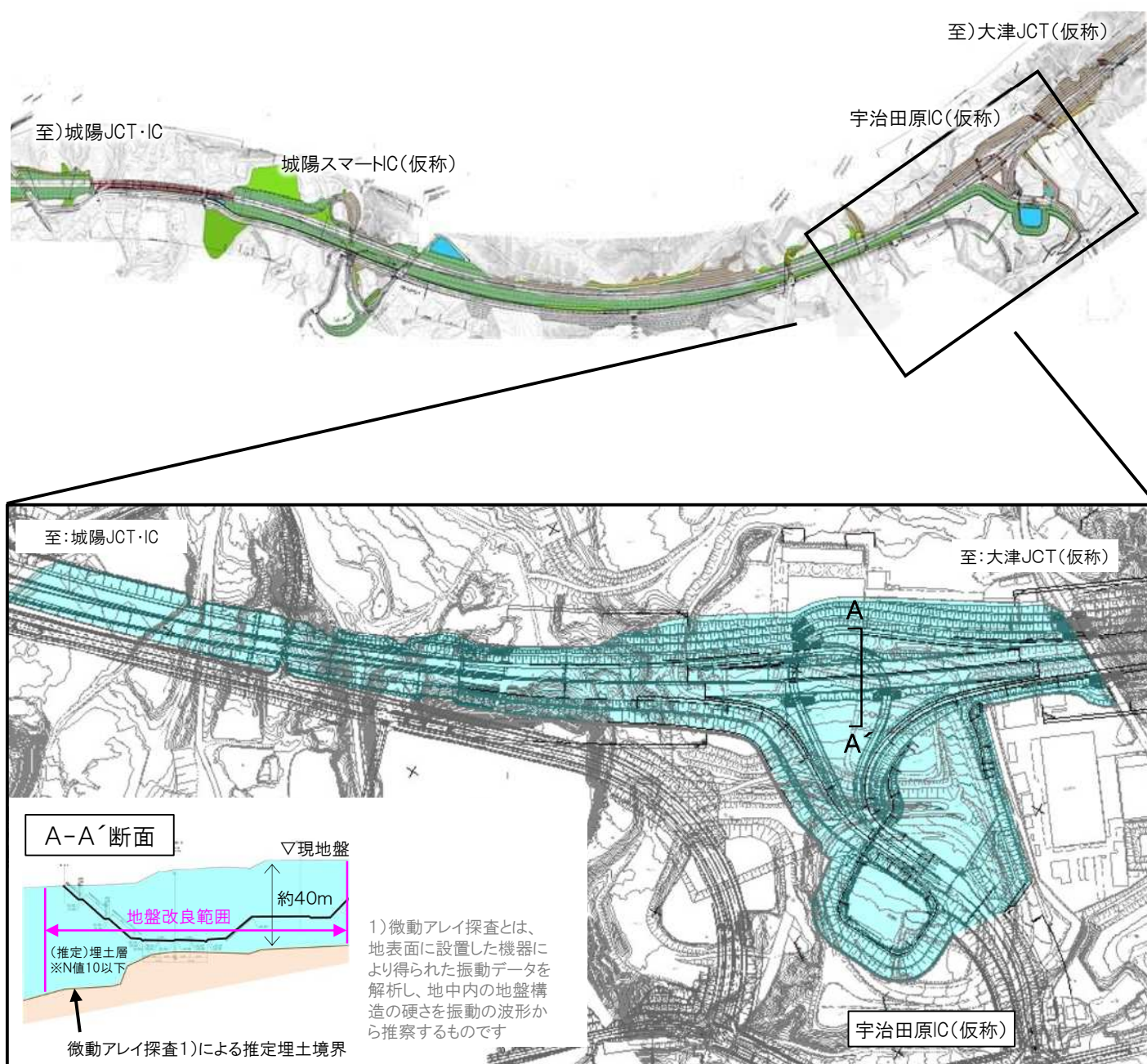
- 2019年10月に大津JCT付近の一級河川大戸川の河川区域内に位置する橋脚の基礎施工において、想定していなかった湧水が発生しました。
- 関係機関と協議し、環境に配慮した薬液注入による止水対策工を追加したことにより、工事工程が遅延しています。



(4) 工事工程の課題(京都府域①)

※事業中区間のJCT・IC及び構造物名称は仮称

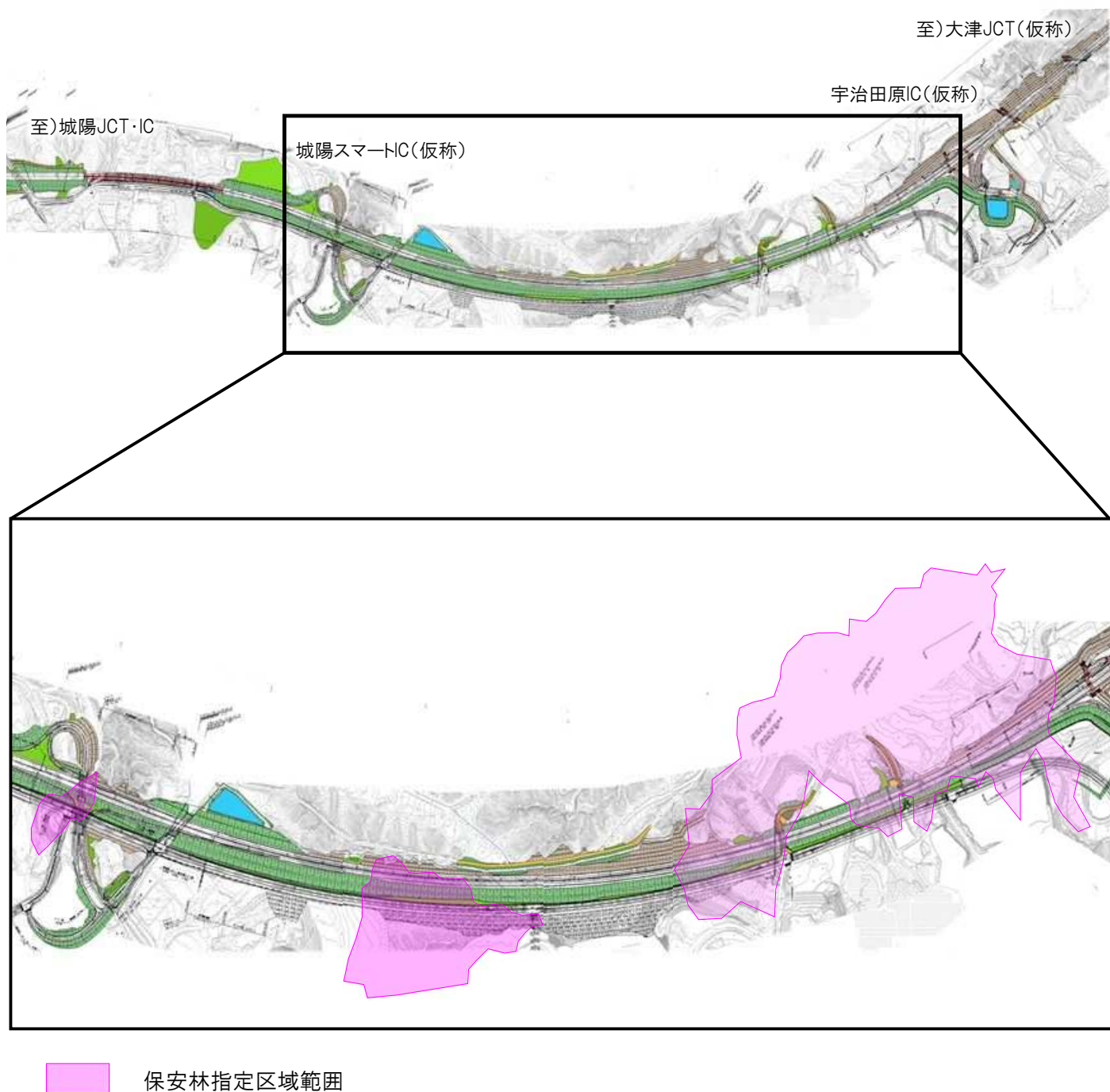
- 土地の引渡し未了箇所は、現在、移転先の造成工事や建築工事が、平成30年台風第21号や令和2年7月豪雨等の天候不順の影響により工事が難航し、新名神の建設工事着手は、2023年4月以降と見込んでいます。
- また、当該地は山砂利採取後の埋土層が広範囲に分布しているため、土地の引渡し後に土質調査を実施し、地盤改良等を行いながら工事を実施していきます。



(4) 工事工程の課題(京都府域②)

※事業中区間のJCT・IC及び構造物名称は仮称

- 城陽市域の丘陵地は、用地取得に時間を要し、工程が遅延しています。
- 現在は、用地取得が完了し、本線工事着手に向け保安林解除等の諸手続きを実施しています。
- 諸手続き完了後、本線工事に着手しますが、当該区間は切盛土量約200万 m^3 と大規模な土工工事であることから、安全に留意し工事を実施していきます。



(5) 工程精査

■ 工事工程に課題がある箇所について、工程精査を実施しました。

■ 工程精査の結果、大津JCT(仮称)～城陽JCT・IC間の開通目標を、2024年度(令和6年度)に見直し、引き続き、土工・橋梁工事等の促進を図りながら1日も早い開通を目指します。

